



東山小学校だより

令和 元年10月10日

※ 町内配付10月10日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

東山の資源は？「小千谷東山の歴史と文化」に参加して…

5日(土)午後2時から国民文化祭の小千谷市独自事業「小千谷東山の歴史と文化」がありました。以前、東山復興支援員として活躍された渡辺敬逸さんの講演を皮切りに、渡辺さん、菅教授、哲太郎さん、鈴木美奈子さん、間野会長さん、木島さんによるパネルディスカッション…おまけに五人杵搗き餅の実演、試食会があると知り、とても楽しみに総合産業会館サンプラザに向かいました。小千谷市外の方の姿はあまり見られなかったものの、会場には東山の皆さんや松井教育長をはじめ市内の有名人(?)が大勢詰め掛けておられました。講演は牛の角突きと錦鯉産業を中心とした歴史、そしてこれからの東山についてのとても興味深い内容でした。パネルディスカッションは、笑いも交えながらパネラーの皆さんから様々な話が伺え、あっという間に時間が経ってしまいました。

講演やパネルディスカッションを拝聴しながら、東山のいちばんの資源は「ひと」なのだと感じました。牛の角突き・錦鯉という伝統文化を根付かせ、地震や困難を乗り越え、今日まで栄えさせてきたのも東山の先人たちであり、今ここに生きる人々なのだと感慨を深めました。そして同時に、これから東山を背負っていく子どもたちに携わっている東山小学校職員としての責任を改めて強く感じたのでした。会場に来ていた皆さんが「ナベちゃんが帰ってきた〜」とか「ナベが話すって言うから来てやった…」とかと口々に言っていたのがとても印象的でした。会場で感じた温かい絆とご馳走になったお餅で、心もお腹も満たされて会場を後にしました。ありがとうございました〜

校内持久走記録会

25日(水)に校内持久走記録会を行いました。前日の雨で、グラウンドはあまり良い状態ではなかったですが、暑くなく持久走には良いコンディションでした。コース(距離)はグラウンドと学校前の道路(坂道)を含む1周400mを低学年は3周、中学年は4周、高学年は5周します。距離はさておき60~70mの急な坂道は他の学校では見られない、東山小学校ならではのコースです。

低学年(今年は1年生のみ)と中高学年一斉に分けてのスタートでしたが、どちらもかなりのハイペースで始まりました。途中でバテるのでは…と心配したとおり、練習に比べてかなり苦しそうな表情の子どもたち…中にはベソをかきながら走る子や、歩き出しそうになる子もいました。しかし友だちや応援に駆けつけてくださった8名の保護者が見守る中、全員が見事に完走し全校児童21名中14名が自己ベスト記録を更新しました。子どもたちの良い姿を見ることができました。

良い姿といえば、まずは開会式…代表児童の決意表明の場面で、5,6年生全員がそろそろと前に出てきました。「なんだ？」と思っていると、全員が「代表」なのだそうです。なんでも、代表児童選びに9名中8名が立候補してなかなか代表が決まらず、「いっそ全員で」ということになったんだとか。まあこれも当校ならではのことで、いいことだなと思いました。もう一つ！1年生のレースでのこと…3人に少し遅れてグラウンドに入ってきた子を、既に走り終えた子が伴走して励ましはじめたのです。とても感動的な光景でした。ややもすると嫌われがちで、決して楽しい行事ではない持久走記録会ですが、とても実りのある行事となりました。



雨ニモマケズ 風ニモマケズ… 全校縦割り班遠足

夏休み前から相次ぐクマ目撃情報…金倉山の山頂近くにも出没。台風18号の発生…4日(金)の遠足当日未明に新潟直撃の予報。延期日まで雨続きの天気予報。4日の実施どころか延期も危うく、一時は今年の遠足は中止?…と覚悟しました。ところが思いのほか台風の進みが遅く、4日の午前には台風の影響が無さそうなことから、途中で引き返すことも視野に行程を早め、クマ出没には車で先行して安全を確認することにして、実施できると判断しました。

学校を出発し、牛太郎にあいさつして、雲ひとつない爽やかな秋晴れの下、首沢方面へ登り始めました。実施は大正解!と意気揚々と歩みを進めること1時間、山古志に入って薬師の杜に到着。休憩していると、空模様が怪しくなってきました。時折ポツポツと降られながら金倉山駐車場へ…天気がもてば昼食後に山頂を目指すことにして、まずは昼食タイム…と、お弁当を広げている最中についに雨が降り始めました。昼食を早めに切り上げ、登頂は断念して、雨が降ったり止んだりの中を小栗山方面から、12時半過ぎに学校に戻りました。

学校に戻って下校までの間は、休憩・昼食・お菓子タイム…そして学級ごとにふり返り活動をすることにしました。すると「遠足の成功を祝って、全校で『くす玉』を作りたい!」と5,6年生が言い出したそうです。

汗ばむ日差しの中での上り坂と、雨具を着ての下り坂。山頂からの眺望のご褒美もない遠足となってしまいましたが、子どもたちは最後まで歩き切りました。へこたれそうになる1年生を上学年が元気付け、荷物を持ってあげたり、手を引いたりしながら全員が自分の足で帰ってきました。「天候に恵まれず行事としてはやや不発だったけれど、子どもたちの頑張りや良い姿を見ることができて良かった」と自分なりに納得していた私は、「くす玉」の話を聞いてハッとしました。子どもたちは困難を協力して乗り越え、充実感や達成感を感じているのだと…という訳で、子供たちがまた一つ成長できた成功の行事だったのでした。



今年も金魚がやって来た〜〜のですが…

今年も小栗山の坂詰さんから、金魚をいただきました。昨年の反省を生かし、今年は玄関ホールに120センチ水槽を設置して飼育を始めました。カラスやイタチに襲われることもなく安心!と思っていたのも束の間、いただいた10匹のうち8匹が10日ほどの間に死んでしまいました。

残念で申し訳ない気持ちでいっぱいですが、現在は水質が安定し2匹が元気に泳いでいます。何人かの子から「お世話したい」という申し出もありました。今後【きんぎょ育て隊(仮称)】を組織して、飼育していけたら良いなあと思っています。

